

名称:白磁象嵌連唐草紋大椀
種目:大韓民国国宝第 175 号
時代:朝鮮時代 (15 世紀)
所在:大韓民国国立中央博物館



韓国からの

ホットニュース

2006. 6. 19 No.264

海外就職希望 1 位国家は日本

海外求職者が最も好む地域は日本と中国であることが分かった。就職ポータルジョブコリアが 3 - 5 月、自社サイトで情報を探索した求職者の履歴書 14 万 6288 件を分析した結果、海外勤務を希望する人の割合は全体の 15% (2 万 1987 件) だった。

希望国家 (複数選択) は日本 (29.9%) が最も多く、中国 (26.1%)、米国 (16.9%)、カナダ (6.4%)、オーストラリア (5.2%) などが後に続いた。同じ期間、企業の海外勤務人材募集は 1419 件で、前年同期に比べて 32.7% 増えた。国別 (複数選択) では中国勤務人材を採用するという企業が 34.2% で最も多く、次いで日本 (20.1%)、米国 (9.4%) の順だった。

ジョブコリアのピョン・ジソン・チーム長は日本・中国は文化的、地理的に近いうえ、雇用が増えているという点を求職者らが分かっているようだと語った。

国内に初の国連傘下機構設立

国連 (UN) 傘下機構が韓国に初めて設立された。情報通信部 (情通部) は 16 日、仁川松島経済自由区域に、国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) 傘下のアジア太平洋情報通信教育訓練センター (APCICT) を開いた。

同センターは経済自由区域庁の建物 3 階に 500 坪規模の講義室・セミナー室などを備えている。APCICT は ESCAP62 加盟国が選抜した政府政策決定者などに IT 教育を行う。毎年 6 つの教育プログラムで 120 人余が専門教育訓練を受ける。

情通部のキム国際機構チーム長は国連が韓国を IT 強国と認めたということとし、IT 分野での国際的な人材・情報交流が活発になるだろうと述べた。米マイクロソフトは運営体制 (OS) などのソフトウェアや技術および研修教育ロードマップ、教育資料の支援を約束した。

三星電子、博士 3000 人時代を目前に

三星電子には博士学位の取得者が、ソウル大よりもたくさんいることが分かった。三星電子が 18 日に伝えたところによると、現在勤務中の博士学位取得者は 2860 人。これは専任教授約 1000 人、研究員約 700 人など、およそ 2600 人の博士がいるソウル大よりも多い人数。三星電子の博士学位取得者は 95 年 490 人にすぎなかったが、2000 年 1000 人を突破し、再び 5 年半後に 3 倍近く増えた。年々 200 ~ 400 人が増えており、年末には 3000 人を上回る見込み。三星電子職員のうち博士の割合は 3.5% にのぼる。その他、現代車には 400 人、SK テレコムには 60 人の博士学位取得者がいる。

中国行きの空の道広がる、オープンスカイ協定締結

韓国と中国政府が両国を行き交う航空機の運航回数を増やすことにした。大韓航空とアジアナ航空が現在毎週 21 回往復する仁川～北京区間の航空便が下半期には往復回数が最大 42 回まで増便される。

両国は 14～16 日、中国で航空会談を行い、段階的に航空運航自由化(別名オープンスカイ)をすることにした。これで両国は別途の話し合いなしに航空会社が運航回数を調整することができる。

両国はまず青島、煙台、威海などがある山東省と韓国すべての地域に航空運航自由化を試験的に適用することにした。現在、仁川～青島には国内航空会社が週 21 回、仁川～煙台は週 7 回、仁川～威海は週 6 回運航している。これらの区間はこれから航空会社が需要を見て必要なだけ運航便数を調節することができる。有名観光地である海南島も対象だ。

韓中両国は運航自由化地域を毎年交渉し、広げていく計画だ。既存路線の運航回数と新規路線も増える。仁川～北京を含み、既存 19 路線の運航回数が週 201 回から 318 回に増える。また仁川～大連など 10 路線が新しくできる。国内航空会社の中国内貨物機運航地点を現行 7 から 9 に増やし、運航回数も週 24 回から週 36 回に増やすことで合意した。

美女とドイツに現れた金正日総書記の次男金正哲氏

北朝鮮金正日国防委員長の次男正哲と推定される人物がドイツ内で活動する姿を取ったビデオが 15 日、日本のフジテレビで放送された。金委員長の後継者とされている金正哲氏のスイス留学時代、同じ学校の友達だったという米国人 2 人は、ビデオの中の人物が金正哲氏に間違いないとフジテレビに証言した。

ビデオには身長 170 センチほどの青年が 4～5 人の仲間と写真を撮ったりコンサートを鑑賞したりする場面などが写っている。フジテレビはこのビデオをワールドカップ(W 杯)開幕前の 6 月 3 日から 7 日までフランクフルトなどドイツ 4 都市で撮影したと明らかにした。

金正哲氏と推定される人物はジーンズに革のジャンパーを着ている。ジャンパーの中に着た淡い赤褐色の T シャツには世界的ポップアーティストであるエリック・クラプトンの演奏する姿がプリントされている。彼の横には白のパンツに淡い青のジャケットを着た若い美女が一緒にいる。金正哲氏と推定される人物と一緒にいる美女がデジタルカメラで写真を撮ると左手を上げてポーズを取り、撮影した画面を一緒に見たりしていた。仲間 5 人と記念撮影をするシーンもある。

ビデオを見た日本側専門家は仲間のうち 2 人は警護員、1 人は案内員、中年女性は家政婦、若い美女は恋人またはすでに結婚した可能性もあると話している。金正哲氏と推定される人物はクラプトンのコンサートを見るためにドイツへ来たと言ったとフジテレビは伝えた。

錠剤のように飲めば 10 時間内臓を撮影

麻酔せず、錠剤のように飲みこめば体の中で各種臓器の写真を撮って疾病を診断してくれるカプセル型内視鏡が国内で初めて開発された。既存米国製品より性能が優れているという評価を受けているこの製品は年末にも市販される予定だ。

産業資源部は政府が支援する 21 世紀フロンティア事業団の 1 つの知能型マイクロシステム事業団で 6 年間 400 億ウォンの研究費をかけてカプセル型内視鏡ミロ(MIRO)を開発したと明らかにした。この内視鏡は近いうちに食品医薬品安全庁の臨床許可を受けてセブランス病院で臨床試験を行い、年末ごろ市販される予定だ。

小さなロボット(Micro Robot)を意味するミロとネーミングされたこのカプセル型内視鏡はビタミン剤の大きさのカプセルにマイクロカメラとバッテリーを内蔵し、体内で8~11時間とどまり、10万ピクセル画質の映像を1秒当たり1.4~2.8枚撮影して体外の受信装置に送ってくる。使い捨てであるカプセル1個当たりの価格は25万ウオン台。

この製品は2002年米国で開発したカプセル型内視鏡ピルケム(130万ウオン)より価格は安い
が、映像画質が2倍すぐれており、実時間映像の転送が可能なのが特徴だ。ただ消化器官の動きに合わせて自然に流れていきながら写真を撮るため撮影範囲が広い上、大腸より食道と小腸
関連診断に有用だと言うのが関係者の説明だ。

食欲調節物質、韓国研究チームが初証明

食欲を調節する物質が脳の視床下部に位置する特定たん白質によって調整されるという事実が国内研究チームによって初めて明らかにされた。

蔚山大学医学部ソウル峨山病院のキム(内分泌内科)、キム(峨山生命科学研究所)教授のチームは脳の視床下部にあるFOXO1というたん白質がほかの食欲調節物質の生産を決めるのに核心的役割をするという事実を究明したと19日、明らかにした。今回の研究結果は神経科学分野の権威誌であるネイチャーニューロサイエンスの電子版に同日掲載された。

脳の視床下部が食欲と体重を調節する部位というのはすでに広く知られている。研究チームは実験動物(マウス)の視床下部でFOXO1の活性が高くなれば食欲を高める物質であるニューロペプチドY(NPY)の生産が増加して食欲、体重が増加、FOXO1の活性が下がれば体重、食欲が減ることを確認した。

以上。カムサ・ハムニダ。